



英彦山の紅葉（田川郡添田町）

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

目次

● シルバーフェスティバル2010	1
● センターだより（朝倉市SC、小郡大刀洗広域SC）	2
● 安全・適正就業対策事業について	3
● シニア就業支援プログラム事業のご案内	4
● 特定公益増進法人に係わる寄附金の募集について	5
● 一言コーナー・今号の表紙	6
● 編集後記	

シルバーフェスティバル2010

平成22年10月23日(土)～24日(日)10:00～16:00

福岡市



連合会

10月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間です。

福岡県連合会は、シルバー人材センター事業や会員の活動状況及びシニアワークプログラム事業、シニア就業支援プログラム事業などについて広報、情報提供等を行うため、前年度と同様、「RKB ラジオまつり」の開催に合わせて2日間、福岡市早良区百道浜のRKB放送会館前広場イベント会場で『シルバーフェスティバル2010』を開催しました。

23日は薄日がさす程良い天候で朝から来場者が絶えず4万人と終日大盛況でした。24日は早朝から生憎の雨、一時強風もあり続行が心配されましたが正午頃から回復して午後から来場者は増えて前日と同じように賑わい、関係者一同安堵しました。2日間の来場者は7万人でした。

シルバーフェスティバル会場は、2張りの大型テントを設置して別表のシルバー人材センターに参加協力をさせていただきました。各シルバー人材センターは、それぞれ限られたスペースを有効に利用するように工夫されて、毛筆筆耕、竹細工の実演。焼き芋、たこ焼き、弁当、梅干し、農産物、加工食品、花、地域特産品等の販売。さげもん、着物リフォーム、手芸品、木工製品など会員手作り品の展示販売を行い、会員が来場者に資材や制作過程などについて詳しく説明をすることがありました。また、別棟の野点コーナーで来場者のおもてなしをいたしました。

2日間を通して、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めましたが、日常の事業運営について地域住民の方から信頼を得ることが先決であると思われます。一來場者の質問で痛感した次第です。



直方市



那珂川町



飯塚市



柳川市

センター出展物一覧

センター名	内 容
(社)福岡市	野点、筆耕、小物販売、さつま芋、竹細工
(社)飯塚市	梅干し、にんにく、米
(社)筑紫野市	センター事業紹介、手づくりフォーム(布ぞうり、洋服、帽子、お手玉、手提げ布バック)他
(社)大川市	木工製品(花台・飾り台)
(社)直方市	弁当、いきなり団子、綿菓子、弁当(天むすび) たこ焼き、コーヒー
(社)小郡大刀洗広域	石焼いも
(社)柳川市	会員作成による小物等の展示・販売
(社)嘉麻・桂川広域	さつま芋、梅干し、カリントウ、栗
(社)那珂川町	野菜(水菜・春菊・ナス・さつま芋)、米、干したけのこ、梅干し、こんにゃく、竹酢液、切り花、ヤーコンの味噌漬け、らっきょう
(社)豊前・上毛	カッチントメ、オハシ、その他、マナ板、ガラス製品、サシミ皿、小皿、グイノミ、スプラット、ヒョウタン、トンボ、バッタ、ハエタタキ
(社)うきは市	レモンガラス、果物(柿) 野菜(キャベツ、里芋、さつま芋) 漬物(高菜)
連合会	インフォメーション、普及啓発、紙工作等



嘉麻・桂川広域



小郡大刀洗広域



豊前・上毛



うきは市



大川市



筑紫野市

各地域の普及啓発運動



大野城市、春日市、筑紫野市、那珂川町
キャラバン隊による普及啓発



岡垣市
清掃ボランティア



大川市
大工まつりでの普及啓発



飯塚市
河川敷清掃ボランティア



(社)朝倉市シルバー人材センター

(社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター

独自事業 甘木絞り同好会

14年間のあゆみ

(社)朝倉市シルバー人材センター
当センターは、平成18年4月1日、市町合併
(旧甘木市・朝倉町・杷木町)に伴い、社団法人
朝倉市シルバー人材センターとして発足し、
平成22年10月1日現在の会員は603人となっ
ております。

平成22年度から、企画提案方式による教育・
環境・子育て分野の取り組みとして生涯学習事
業「シルバーお伝え隊」を実施しています。

その一つに、旧甘木市の伝統工芸である、甘
木絞り(藍染め)があります。これは、旧甘木市
シルバー人材センター当時の平成9年度から同
好会メンバーによりその伝統を受け継ぎより多
くの人の伝えていく目的で独自事業として実施してまいりましたが、今年
度から内容を充実して企画提案方式により実施することになりました。

実施にあたっては、同好会メンバーが中心となり、一般市民を対象
とした、初級コース(6日間)を企画し募集したところ、予定募集人員
を超える希望者があり、現在熱心に取り組んでいます。

甘木絞りは、細かい手作業に加え、布を染めて仕上げる手作りのた
め量産はできませんが、柄は様々なものがあり藍独特の素朴な色調の
作品は郷土の風情を感じさせてくれます。

今後、甘木絞りを通じて、伝統文化の継承に努め地域との交流を
深めていきたいと思っています。



企画提案方式による「ライフサポート小郡」

(社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター

当センターは、福岡県南部に位置する小郡市と大刀洗町の
1市1町による広域シルバー人材センターを形成しています。
区域人口は約7万5千人です。60歳以上の人口比率は29%
となっており、高齢化が進んでいます。

そこで、当センターでは高齢者の方に地域の中で、ふれあ
い、楽しみ、生きがいを見つけていただきたいの思いで、
平成21年度からライフサポート事業「脳トレニング」を開
始しました。

参加者は、最初に会員指導によるストレッチ体操を行い、
普段使わない筋肉を動かし「悲鳴」をあげて楽しんでいます。
後半は、指先を使うことで脳を活性化させるため指あみやマ
ジックを行ったり、絵手紙、ちぎり絵、布ぞうりなどを作っ
ています。

今年度は、既に予定の10回は終了しました。その間、一般
参加20名の方、会員講師、世話人全て和気あいあいとトレ
ニングや作品づくりをして、参加者から「いい運動になった
いろんな作品が出来て楽しかった。次も参加したい」などの
声があり好評でした。

会員も毎回準備等でセンターまで足を運び大変でしたが、
一般参加者の皆さんが楽しそうに帰られる姿を見ると自然と
笑顔になり、やりがいを感じているようでした。

今後は、もっと多くの方に参加していただけるように、「セ
ンターを飛び出して地域に出かける出張脳トレニング」
を実施したいと考えています。そしてこの事業が地域高齢者
の大きな
交流の場
となり、
皆様の健
康増進に
つながる
ことを
願ってい
るところ
です。



安全・適正就業対策事業について

福岡県シルバー人材センター連合会の安全・適正就業対策事業については、毎年度「安全・適正就業対策委員会（以下、「委員会」という。）が策定した安全・適正就業対策実施計画に基づいて委員会が主体となつて活動しています。

そのうち日常的に活動している主なものは、
① センターの安全・適正就業パトロール
② センターの事故報告を集計し、センターにフィードバックしていること。
③ センターの安全・適正就業に関する問い合わせに対する指導・助言等です。
それらのうち、活動状況の一部を紹介します。

安全・適正就業パトロール

安全・適正就業パトロールは委員会委員（県下41シルバー人材センターの中から理事長、事務局長、安全・適正就業推進員それぞれ4名、学識経験者として福岡労働局及び福岡県から各1名と連合会常務理事の計15名）が手分けして行っています。本年度は14センターを対象に8月からパトロールを実施しています。

午前は主に草刈、剪定、草取りの就業現場を2カ所回り、会員の作業状況を見て不安全行動等があればその場で適切に指導を行い、会員の方との会話を通して安全就業意識の浸透を図るようにしています。その中で、会員のヘルメット着用状況が良好な就業現場もあり、安全就業の基本原則が忠実に実行されているセンターの姿勢が伺えることがあります。

午後はヒヤリングを行っていきます。午前中の就業現場の状況を含め、センターの実情について説明を受け、適宜指導・助言を行い、特に、重篤事故の連続発生を起因とした委員会決議事項の遵守について、その徹底を図るように強調しているところです。

適正就業については、請負契約書及び会員の就業日数や配分金支払いが確認できる書類等を見て、関係法令等に適合しているか調べ、不適正の疑いがある就業等があれば直ちに改善するよう指導しています。

安全・適正就業は、数年来その徹底について指導強化を図っているところですが、未だ「発注者の指揮・命令が存在する請負

契約書」「安全就業基準等がおろそかになつている就業」「就業が公平に分配されていない」などが一部のセンターで見受けられ、遺憾な状況であると云わざるを得ません。

事故報告書

毎月10日までに、各センターで前月発生した傷害、賠償事故について報告していただいています。これはシルバー保険の対象にならない自動車事故も併せて報告いただいています。報告いただいたものは、まとめて各センターに報告しています。

新聞などで、例えば刈払機による事故が報道されるとたとえシルバー人材センターの事故でなくても気になります。とかく身近な作業に係る出来事には関心が高まるものです。

つまりシルバー会員として就業していて他のセンターで同じ作業で事故を起こしたとしたら当然関心がわくところです。

事故報告書（事故情報）はそのような意味では、会員皆さんの関心は大変高いものといえると思います。連合会から各センターに送付している毎月の事故情報は、様々な活用の仕方があると思います。あるセンターはA3の大きさに拡大して会員の皆さんが目につく場所に掲示しています。またあるセンターは職群に係する事故情報を班長さんに渡し、班長さんが朝礼時に班の皆さんに報告しています。まだ十分活用されていないセンターは是非会員の皆さんに伝達方法を工夫して、報告する仕組みを考えていただきたいと思います。

似たような事故は二度と起こさないという強い決意をもって安全な就業に臨んでいただきたいと思います。



シニア就業支援プログラム事業のご案内

登録料
無料!

55歳
以上!



近年、高齢者の雇用・就業ニーズは多様化しボランティア、本格的な雇用など様々です。社会参加を希望する55歳以上の方々を対象に、幅広い形で就業や社会参加の機会確保・提供などを目的としています。



事業内容のご紹介

地域ネットワークの活用

地方公共団体をはじめ地域の企業、NPO やボランティア団体、ハローワークなど県内の関係組織・団体と連携・協力する「地域ネットワーク」などの情報を提供します。

参加者の募集・登録

対象者は、定年等による離職者及び離職予定者、本格的な職業生活から引退過程または引退後の、55歳以上の方です。履歴・職歴・就業ニーズ等を登録していただきます。登録料は無料です。

マッチングの実施

希望されている登録者のニーズと、雇用・就業の担い手として高齢者を求めている地域の企業や団体などの人材ニーズを照合し、適切な情報を提供します。

ワークショップメニューの実施

地域社会で様々な活動に参加し、活躍の場を拡大したいと希望されている登録者に、地域ネットワークを活用し、シルバー人材センター就業体験、ボランティアなど、ワークショップを開催、提供します。

ワークショップ 開催予定

会 場	日 時	内 容
うきは市	平成22年11月19日	農業実習（収穫・味噌作り）
糸 島 市	平成22年12月13日	農業知識についての講習

個別相談の実施

シニア就業支援コーディネーターが、登録者の就業、就職ニーズ、社会活動に関する個別相談に応じます。

就業応援セミナーの開催

登録者の就業、就職や地域社会での活躍の場の拡大に役立つ「就業応援セミナー」を開催します。これからのスケジュールは下記をご覧ください。

就業応援 セミナー 開催予定

地 区	日 時	会 場
筑 豊	平成22年11月19日	直方市中央公民館
福 岡	平成22年12月17日	福岡市内
北九州	平成23年 1 月21日	北九州市内
筑 後	平成23年 1 月28日	柳川市内
筑 豊	平成23年 2 月18日	飯塚市内

各体験授業の参加にあたっては、登録が必要となります。
詳しくは、当連合会にお問い合わせください。

シニア就業支援係

TEL 092 - 623 - 5656 まで



特定公益増進法人に係わる寄附金の募集について

晩秋の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当連合会の事業運営に格別のご理解ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記のことについて、平成21年度は、皆様の格別なご協力をいただき特定公益増進法人への寄附金は目標額を達成することができました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

当連合会は、公益事業団体として平成22年3月特定公益増進法人の再認可を受けました。現在、その寄附金の募集について鋭意取り組んでいるところであります。

特定公益増進法人の認可要件は、公益事業団体に限られ、シルバー人材センターが行う事業は公益性・公共性が高い評価を得て再認可を受け、税法上の優遇措置を得たところです。

財務省は、特定公益増進法人の認可に当たり、毎年度、寄附金額が100万円以上達することが必要であるとの厳しい見解を示しております。今年度9月末現在の寄附金は、目標額100万円の3分の1にやっと達した状況であり、残余期間を考えますと、皆様方の絶大なるご支援とご協力がなければ目標額の達成は極めて困難な状況にあります。

未だ景気が停滞し好況感に乏しい状況のなか、民間事業所や各種団体、地域住民等に寄附をお願いするのは誠に心苦しい次第ですが、特定公益増進法人の趣旨をご理解いただきますとともに、各センターにおかれましては、この制度はセンターの事業運営資金の確保等に寄与することについてご認識を深めていただき、特定公益増進法人への寄附金募集に絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

会 長 生 田 征 生

ご寄附に際して：当連合会が「特定公益増進法人」である証明書と領収書を発行します。

寄附金の金融機関への振込及び送金先等詳細については、下記までお問い合わせください。

福岡市博多区吉塚本町9番15号（福岡県中小企業振興センタービル8F）

社団法人福岡県シルバー人材センター連合会

TEL 092 - 623 - 5656

今号の表紙



英彦山の紅葉
(田川郡添田町)

撮影者 尾仲 一顕氏

直方市頓野在住

英彦山かじか荘付近で撮影。

前方は柿の木後方はもみじ。柿の葉がこうに変色するのはめずらしいと云われている。

十数年前の紅葉。



一言

コーナー

最近入手した旅の情報誌の中で、「うまいもの王国ふくおか」と題して福岡市内の魚市場や食堂、料亭、食材などが特集されている。福岡は食べ物が旨い処と全国的に有名になっているが、この特集からも福岡の食文化の一端が伺え、福岡ならではのオリジナルの食べ物が写真とともに紹介されており、食欲をそそられる。

時あたかも大相撲九州場所の時季。相撲といえばチャンコ鍋。食材が豊富な福岡で開催する九州場所は力士が待ち望んでいると聞く。福岡県人として嬉しい話題だ。

さて、電車に乗る前何気なく手にした情報誌の特集は、いつもは退屈な乗車のひとときをあれこれ思い巡らせ食への関心を促してくれた。テレビのグルメ番組からは想像力をふくらませて匂い立つような感触を得ることは出来ないだろうと思われる。

それにしても、大食を競ったり料理をゲーム感覚で扱い笑いを媚びる番組が目立つようになった。

食とは何か。食に対してもっと真摯であるべきではないか。

編集後記

。自然は偉大なり、猛暑がいつの間にか秋を感じさせるさわやかな風になり、山間の木々は色づき季節が変わったことを知る。人もこのように変わられたら将来がもう少し明るく見えるかも知れない。

(猪口)

。本号のセンターだよりでは、2センターの企画提案型事業を紹介しています。地域の特性や会員のアイデアを活かしたものになっています。ぜひもう一度ご覧ください。

(溝部)

。シルバー事業の理念である「共働、共助」は、会員が共に働き、共に助け合っていくことを目指しています。安全就業を確保するには、会員同士が共に助け合い、注意し合つて不安全行動をなくしていくことが大切です。万が一事故になった場合は作業班員が連帯してペナルティをうけるという仕組みを作ることが、お互い事故をなくするという安全意識を高める手だてになるのではないのでしょうか。

(北村)

。機関紙第30号お届けします。

本年も残すところ1月余となりました。

政情は内外とも不安定な状態で越年になりそうです。来年は少しでも光明の兆しが現れるように願いたいものです。



福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル8階

TEL092-623-5656 FAX092-623-5677

(URL) <http://www.fscr.or.jp>



この印刷物は、揮発性有機化合物を含まないノンVOC植物性インキを使用しています。